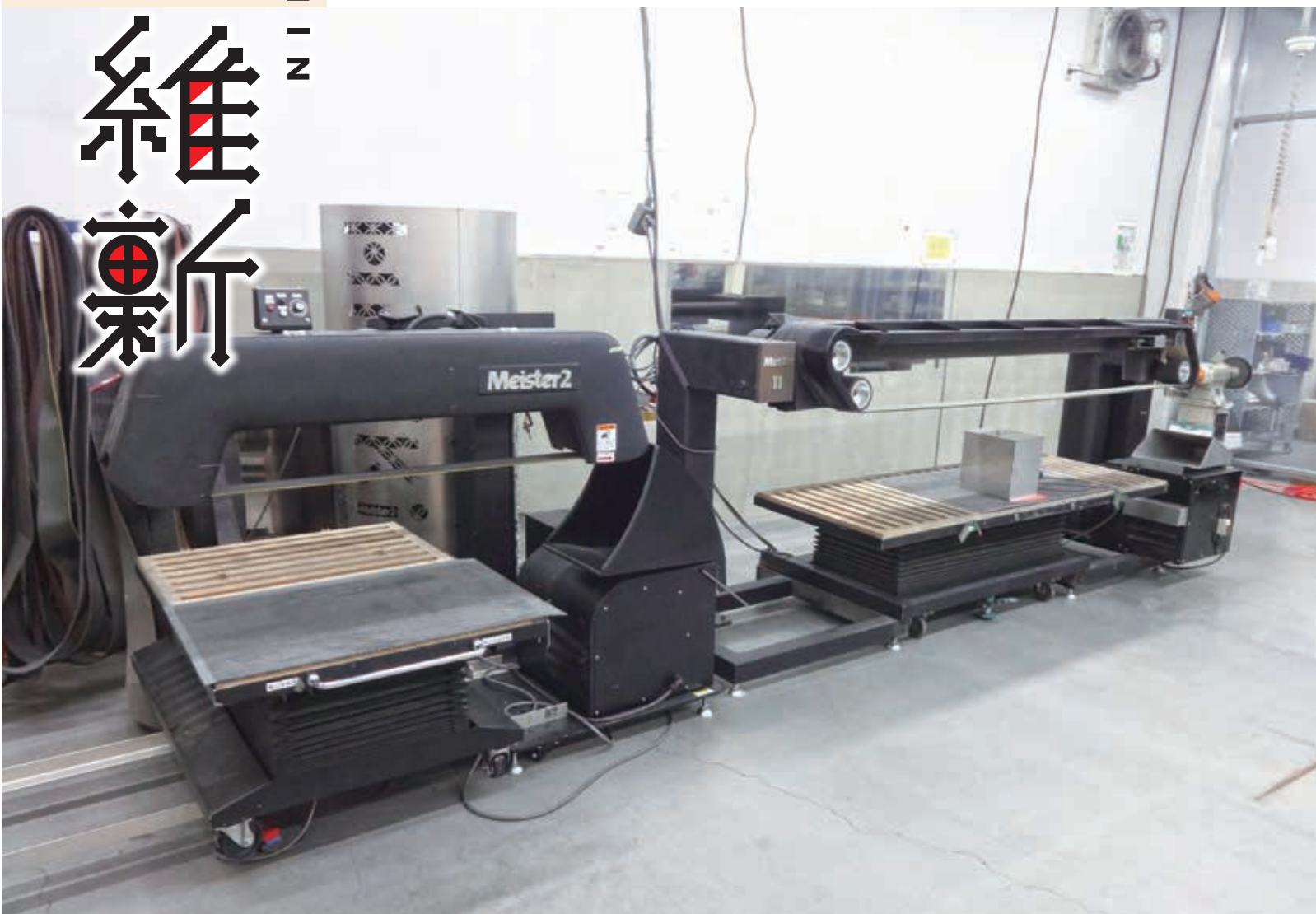


生産装置軽量化のパネル大型化に対応した ベルト研磨機導入による生産品目の拡大

顧客の生産装置（半導体製造装置やFPD製造装置）の大型化に伴って、外装パネルの大型化も同期しており従来のパネルデザインや板厚では重量が大きくなるため、ユーザー要求としてパネルの大型化に対する軽量化が求められている。対応した設備を導入し課題解決を図る。



MEISTER2(左側)とMEISTER11(右側)

事業のきっかけや目的

研削条件に伴う①研削技術②研削対象製品の大型化への対応③製品スポット溶接痕の最小化などの加工技術的な課題を解決することを目的とし、本事業ではこれらの課題を解決するための設備の導入を図るものである。

事業の取り組み内容と成果

【立体用の場合】ベルトヘッドが回転することにより製品の高さ制限がなくなり研磨仕上げが可能になった。また角度も変えられることで製品を水平に置き安定した状態での研磨仕上げが可能になった。【長尺用の場合】加工領域が2000mmとなることから面の均一な面仕上げが可能となった。

事業化に向けての今後の取り組み

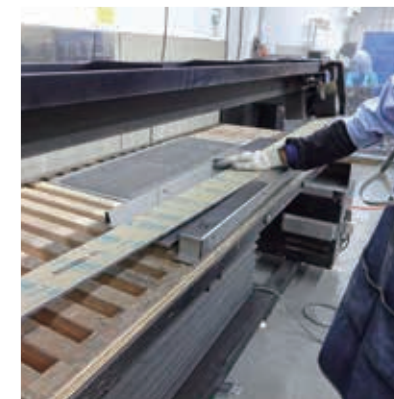
溶接痕の最小化・研磨ベルトの選定・研削研磨加工条件の確立が出来ていることから今後の取り組みとして、既存顧客に対して今まで以上の価値提案を行う。また新規顧客に対して当社が提供するオンリーワン技術で競合他社との差別化で販路開拓を行っていきたい。



MEISTER2立体製品の加工が出来る



MEISTER11 2mまでの加工が出来る



MEISTER11 仕上げ加工

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

高精度精密板金のパイオニアとして

私たちは2つの大きな財産を持っています。ひとつは高精度精密板金のパイオニアとして地道に積み上げてきた経験に基づく技術力。もうひとつは、既成の枠にとらわれないオリジナルの発想力です。私たちがお客様にお届けするのは製品だけではなく、要望やアイデアを高度に反映させた製品に加え、徹底した品質管理、納期管理、優れたコストパフォーマンスにより、継続的な安心と信頼、心からの満足をお届けしています。

企業 DATA

昭和20年の終戦の年に先代の藤田修二により産声を上げた。現社長の藤田幸二により、精密板金事業への転換を図り、板金加工に特化したものづくり、世界一の技術水準を常に求め、顧客にとって選ばれる企業を目指している。



藤田ワークス is ONLY ONE

事業者	株式会社藤田ワークス
代表者	代表取締役 藤田 幸二
設立年月日	平成2年4月2日
所在地等	〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク12番18号 TEL 0995-46-6100 FAX 0995-46-7364 E-mail info@fujitaworks.com URL http://fujitaworks.com/
資本金額	1,000万円
従業員	85名
業種	金属製品製造業